

2021年度第5回中京競馬特別レース名解説

<第1日>

○ 日進特別

日進（にっしん）は、名古屋市と豊田市に隣接した愛知県中央部の市。古くは国内屈指の窯業生産地として栄え、現在は名古屋市のベッドタウンとして宅地化が進むとともに、多くの大学が立地する学園都市として発展を続けている。

○ ムーンライトハンデキャップ

ムーンライト（Moon Light）は、月明かりを意味する英語。旧暦8月15日（現行暦では9月中旬～10月初旬）の夜に見られる月は1年で最も美しいとされ、中秋の名月と呼ばれている。

○ エニフステークス（L）

エニフ（Enif）は、ペガサス座を構成する星。同星座を構成する恒星の中で最も明るい星である。名は、ペガサスの鼻の部分にあたることからアラビア語で「馬の鼻」を意味する「アル・ Anf ・アル・ファラス（Al Anf al Faras）」に由来するとも言われている。

<第2日>

○ 長久手特別

長久手（ながくて）は、愛知県北西部の市。名古屋市に隣接しており、徳川家康と豊臣秀吉が戦った「小牧・長久手の戦い」の古戦場跡がある。愛知万博の開催地でもあり、現在は跡地に「愛・地球博記念公園」が建設され、万博の事績が残されている。

○ エクセル浜松開設10周年記念浜松ステークス

本競走は、エクセル浜松開設10周年を記念して実施される。

浜松（はままつ）は、静岡県西部にある政令指定都市。磐田市、愛知県豊橋市などに隣接し、繊維・楽器・輸送機器産業などが盛ん。戦国時代には徳川家康が同地を17年間本拠とし、数々の戦いを繰り広げた。

○ サマースプリントシリーズ産経賞セントウルステークス（GⅡ）

全6戦で実施されるサマースプリントシリーズの最終戦。

本競走は、昭和62年に創設された重賞競走。当初は1,400mで実施されていたが、平成12年にスプリンターズステークスの実施時期が変更されたことに伴い、距離が1,200mに短縮され、実施時期は秋季競馬の開幕週へと繰上げられた。なお、第1着馬には同年のスプリンターズステークスへの優先出走権が与えられる。

セントウル（Centaur）は、ギリシャ神話に登場するケンタウロスの英語訳。上半身が人間、下半身が馬の姿をした架空の怪物。阪神競馬場内のセントウルガーデンにはセントウル像があり、同競馬場のシンボルとなっている。

産業経済新聞社は、東京と大阪に本社を置く新聞社。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第3日>

○ 阪神ジャンプステークス（J・GⅢ）

本競走は、平成11年に創設された障害重賞競走。前身の『阪神障害ステークス』は昭和43年に創設され、当初は3,300mで行われていた。幾度かの変遷を経てJ・GⅢに格付けされた後は『阪神ジャンプステークス』と名を新たにし、3,140mで実施されている。本年は中京競馬場において3,300mで実施される。

○ 金山特別

金山（かなやま）は、名古屋市中区と熱田区との境の地区。複数の路線が乗り入れる金山駅を中心に、多くの商業施設や飲食店が立ち並んでいる。

○ 大府特別

大府（おおぶ）は、名古屋市の南部に隣接する市。愛知用水を利用した農業が盛んで、巨峰やシャインマスカットなどぶどうの産地として有名。また、スポーツのまちとして地域スポーツに力を入れている。

○ ケフェウスステークス

ケフェウス（Cepheus）は、北の空に見られる星座。トレミーの48星座のひとつ。名は、ギリシャ神話に登場するカシオペアの夫、アンドロメダの父である古代エチオピア王ケフェウスに由来する。

<第4日>

○ 木曾川特別

木曾川(きそがわ)は、長野県中西部の鉢盛山に源を発し、飛騨川と合流して伊勢湾に注ぐ川。延長229km。下流には、水害から集落を守るため周囲を堤防で囲んだ「輪中(わじゅう)」と呼ばれる地帯が広がる。長良川、揖斐川とともに木曾三川と呼ばれている。

○ 納屋橋ステークス

納屋橋(なやばし)は、名古屋市中区にある橋。古くから経済の大動脈として名古屋を支えてきた堀川と広小路通に架かる。欄干には堀川開削の総奉行福島正則と郷土の三英傑である織田信長・豊臣秀吉・徳川家康の紋所も見られる。

○ 関西テレビ放送賞ローズステークス(GⅡ)(秋華賞トライアル)

本競走は、昭和58年に創設された重賞競走。当初は京都競馬場の2,000mで行われていたが、平成8年に阪神競馬場へ移設され、19年より芝外回りコース新設に伴い1,800mに短縮された。なお、第3着までの馬には秋華賞への優先出走権が与えられる。本年は中京競馬場において2,000mで実施される。

関西テレビ放送は、大阪府大阪市に本社を置く放送局。昭和33年開局で、FNS(フジテレビ)系列。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

ローズ(Rose)は、バラを意味する英語。花言葉は「愛」「美」。

<第5日>

○ ヤマボウシ賞

ヤマボウシは、ミズキ科の落葉高木。葉は楕円形で先が尖っており、花びら状の白い4枚の苞を持ち、秋には赤い集合果が実る。また、兵庫県宝塚市の市木でもある。花言葉は「友情」。

○ 2011メモリアルオルフェーヴルカップ

本競走は、10年前のJRA賞年度代表馬オルフェーヴル号の名を冠した競走。

同馬は、2011年に史上7頭目となる牡馬クラシック三冠を達成し、続く有馬記念も制した。これらの成績が評価され、JRA賞年度代表馬・最優秀3歳牡馬に選定された。

○ JRAアニバーサリーステークス

本競走は、日頃から中央競馬をご愛顧いただいているお客様へ感謝の気持ちをお伝えするとともにJRAのこれまでの歴史を振り返る日として、9月20日（祝・月）に「JRAアニバーサリー」を実施することに伴い行われる。

同日の中山・中京競馬場では、過去（10年前・20年前）のJRA賞年度代表馬の馬名を冠した競走も併せて行われる。

<第6日>

○ 野路菊ステークス

野路菊（のじぎく）は、キク科の多年草。西日本の海岸付近の崖や山道などに自生し、秋に白色、まれに黄色の頭状花を多数咲かせる。また、兵庫県の県花に指定されている。花言葉は「真実」。

○ 夕月特別

夕月（ゆうづき）は、秋の宵月のこと。一般に、夕方西の空に見える月を指し、俳句では秋の季語として使われる。

○ 長篠ステークス

長篠（ながしの）は、愛知県新城市の地名。天正3年（1575）に織田信長と徳川家康の連合軍が、武田勝頼と戦った「長篠の戦い」の古戦場として知られている。

<第7日>

○ 愛知用水通水60周年記念知多特別

本競走は、愛知用水通水60周年を記念して実施される。

知多（ちた）は、愛知県南西部の半島、また同半島北西部の市。沿岸部の工業地帯には発電所や製油所などがあり、内陸部では米・麦・園芸など農業も盛ん。なお、愛知用水は木曾川上流にダムを造り、岐阜県八百津町に位置する兼山取水口から水を取り入れ、尾張東部から知多半島へ農業・工業・水道用水を送っている。

○ 桶狭間ステークス

桶狭間（おけはざま）は、愛知県豊明市と名古屋市にまたがる地域にある古戦場。永禄3年（1560）、織田信長が、上洛を目指していた今川義元を破った地として知られている。

○ 神戸新聞杯（GⅡ）（菊花賞トライアル）

本競走は、昭和28年に『神戸盃』の名称で創設された重賞競走。47年に現在の名称に変更された。当初は2,000mハンデキャップ戦であったが、その後幾度かの変遷を経て、平成15年より馬齢重量になった。19年より実施距離が2,400mに延伸され、現在に至る。なお、第3着までの馬には菊花賞への優先出走権が与えられる。本年は中京競馬場において2,200mで実施される。

神戸新聞は、神戸新聞社より発行されている日刊紙。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第8日>

○ ききょうステークス

ききょう（桔梗）は、キキョウ科の多年草。秋の七草のひとつ。葉は卵形で、夏から秋にかけて、青紫色で星型の花を咲かせる。花言葉は「変わらぬ愛」「気品」。

○ 関ヶ原ステークス

関ヶ原（せきがはら）は、岐阜県南西端、伊吹・鈴鹿両山地に挟まれた小盆地で、岐阜県不破郡の町名。古来より交通の要衝で、愛発（あらち）、鈴鹿とともに古代三関のひとつである不破の関所が置かれた。また、中山道・北国街道・伊勢街道の分岐点にあたり、宿駅が置かれた。慶長5年（1600）、天下分け目の戦いと称される「関ヶ原の戦い」が繰り広げられた場所として有名。

○ シリウスステークス（GⅢ）

本競走は、平成9年に創設された重賞競走。当初1,400mで実施されていたが、19年より2,000mに延伸された。本年は中京競馬場において1,900mで実施される。

シリウス（Sirius）は、おおいぬ座のアルファ星。太陽を除くと、地球から見える恒星の中では最も明るい。名は、ギリシャ語で「焼き焦がすもの」を意味する「セイリオス（Seirios）」に由来する。

<第9日>

○ 浜名湖特別

浜名湖（はまなこ）は、静岡県西部にある総面積約65km²の汽水湖。今切（いまぎれ）より遠州灘に通じる。弁天島・猪鼻湖・引佐細江（いなさほそえ）などの名勝があり、養殖ウナギでも有名。

○ 白川郷ステークス

白川郷（しらかわごう）は、岐阜県北西部、大野郡の庄川上流域の一带。同地特有の茅葺家屋は、日本の木造家屋の中でも特徴的かつ合理的な造りをしていることなどから、富山県南砺市の五箇山とともに、『合掌造り集落』としてユネスコの世界文化遺産に登録されている。

○ ポートアイランドステークス（L）

ポートアイランド（Port Island）は、兵庫県神戸市、神戸港の一隅を埋め立てて造られた海上文化都市。着工は昭和 41 年で、56 年に日本初の都市機能を持つ人工島として誕生した。